

公開講演会

人と土地との関係から考える日欧中世社会 —比較荘園制論の再構築へ—

日時 2026年 2月 28日（土） 13:30 ～ 17:30

講演者

海老澤 衷（早稲田大学 名誉教授）

赤松 秀亮（別府大学 文学部 史学・文化財学科 准教授）

遠藤 基郎（東京大学 史料編纂所 古文書・古記録部門 教授）

丹下 栄（熊本大学 名誉教授）

下村 周太郎（早稲田大学 文学学術院 准教授）

甚野 尚志（早稲田大学 文学学術院 教授）

開催場所

オンライン（Zoom・事前登録制）

右記のQRコードより講演会ページへアクセスし、ご登録ください。



◆プログラム◆

- 13:30～14:10 趣旨説明・講演1：日本におけるフランス中世史研究受容の波—マルク・ブロックを中心に—（海老澤 衷）
- 14:10～14:50 講演2：「荘園」という空間から見る人と土地の関係—日欧中世荘園の比較研究に向けて—（赤松秀亮）
- 14:50～15:30 講演3：東大寺領黒田荘史料のモザイク構造—多様な伝来関係—（遠藤基郎）
- 15:30～15:45 休憩
- 15:45～16:05 コメント1：西欧中世荘園の一局面—農民社会論の視点から—（丹下 栄）
- 16:05～16:25 コメント2：日本古代中世における墓と大土地所有 —栄山寺を中心に—（下村周太郎）
- 16:25～16:45 コメント3：日欧比較荘園制研究の可能性—朝河貫一の研究から—（甚野尚志）
- 16:45～17:30 質疑応答

共催：早稲田大学 総合人文科学研究センター「トランスナショナル社会と日本文化」